

全国こどもホスピスサミット

第3回

いのちがやく社会へ、ともに考えよう！ “生きる”を支えるこどもホスピス

重い病気や障がいとともに生きる子どもと家族の在宅支援施設「こどもホスピス」の全国への波及と小児緩和ケアの推進を目指す全国の団体が連携し、「全国こどもホスピスサミット」を開催しています。横浜で開催された第1回、北海道での第2回に続いて第3回は福岡に集っての開催を予定していましたが、covid19の流行に伴い、今回はオンラインで開催いたします。

コロナ禍での思いや取組みも踏まえ、子どものいのちや子どもホスピスについて語り学び合い、オンラインを超えて、未来に支援の和が広がることを目指します。



2021 2/20(土) 13:00～16:40 (12:40 より入室開始)

オンライン開催 **Zoom ウェビナー** 参加費：1,000 円 (要事前申し込み)

定員300名 (先着順) 申し込み方法は裏面をご覧ください。

主催：NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクト、認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト

後援：福岡県、福岡県小児科医会、福岡県看護協会、福岡市教育委員会、福岡地区小児科医会、がんの子どもを守る会九州北支部

協力：福岡ファミリーハウス

13:00 開会のことば



13:10～15:00 第1部 講演 / 子どものいのちの輝きのために

基調講演

早産児と家族の障害感の緩和を目指してNICUで取り組んでいること
豊島 勝昭 先生 神奈川県立こども医療センター新生児科部長

講演1

息子が遺してくれたもの
内藤 真澄 さん 九州大学病院小児医療センター親の会すまいる代表

講演2

子どもの生を支える教育
副島 賢和 先生 昭和大学大学院保健医療学研究科准教授



15:10～16:40 第2部 シンポジウム / こどもホスピスネットワーク

1 国立成育医療研究センター短期入所施設「もみじの家」

もみじの家

2 公益社団法人
こどものホスピス
プロジェクト
TURUMIこどもホスピス



3 淀川キリスト教病院 こどもホスピス病棟



宗教法人 在日本南ブレスピテリアンミッション
淀川キリスト教病院
Yodogawa Christian Hospital

4 認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト



横浜こどもホスピスプロジェクト

5 一般社団法人
北海道こどもホスピス
プロジェクト



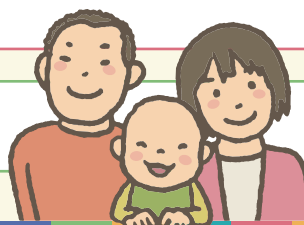
6 NPO法人
東京こどもホスピス
プロジェクト



7 NPO法人
福岡子どもホスピス
プロジェクト



16:40 閉会のことば



in
福岡

SEKISUI HOUSE
MATCHING PROGRAM

本サミットは積水ハウス
マッチングプログラムの
助成を受けています。

第3回 全国こどもホスピスサミット in 福岡

いのちがやく社会へ、ともに考えよう！“生きる”を支えるこどもホスピス

2021 2/20(土) 13:00~16:30 オンライン開催 **Zoom ウェビナー** 参加費：1,000 円

第1部 登壇者プロフィール



早産児と家族の障害感の緩和を目指してNICUで取り組んでいること

豊島 勝昭 とよしまかつあき 神奈川県立こども医療センター新生児科部長・周産期センター長

新潟大学医学部卒業。24時間 365日体制の新生児集中治療室（NICU）でスタッフとともに早産や先天性疾患などの集中治療を必要とする新生児の診療と家族へのケアに取り組んでいる。2015年、2017年に放送された周産期医療を題材としたドラマ「コウノドリ」では医療監修を担当。

2020年度日本心臓病学会「優秀論文賞」受賞。日本新生児育成医学会評議員（医療の標準化検討委員）、日本周産循環管理研究会代表幹事、日本新生児内分沁研究会幹事、日本胎児治療学会幹事ほか。



息子が遺してくれたもの

内藤 真澄 ないとう ますみ

福岡県生まれ。2009年当時まだ1歳だった子ども、“駿”が急性骨髄性白血病になり、母親として入院治療に付き添い、再発、臍帯血移植、再再発と、息子とともに家族としての闘病を体験する。3歳で最愛の子どもを喪い、外出できない日々が続いたが、その後、駿がつないでくれたご縁から、2014年（公財）がんの子どもを守る会九州北支部幹事、2015年より九州大学病院小児医療センター親の会すまいる代表、福岡ファミリーハウス理事を務め、闘病中から退院後まで病気の子どものご家族に関わっている。



子どもの生を支える教育

副島 賢和 そえじま まさかず 昭和大学大学院保健医療学研究科准教授

福岡県生まれ。東京都立小学校教諭として25年間勤務。その内8年間、品川区立清水台小学校「さいかち学級（昭和大学病院内）」担任。2014年4月より現職。学校心理士スーパーバイザー。ホスピタル・クラウン。北海道・横浜こどものホスピスプロジェクト応援アンバサダー。TSURUMI こどもホスピスアドバイザー。日本育療学会理事。NPO法人Your School 理事。NPO法人元氣プログラム作成委員会理事。へるす出版小児看護誌に「あかはなそえじの子どもエナジーステーション」連載中。09年ドラマ『赤鼻のセンセイ』（日本テレビ）のモチーフとなる。11年『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK総合）に出演。

お申し込み

以下のQRコードから申込ページへアクセスし、チケットを購入、お申し込みください。開催日の2日前までに視聴するZoomのURLを登録いただいたメールアドレス宛に送付いたします。



第3回 全国こどもホスピスサミット
申し込み専用サイト

<https://kodomo-hospice.com/events>

【参加申込み締め切り】2月11日【木】

【参加時のご注意】

Zoomのご準備をお願いします。事前にアプリケーションをインストールしておいてください。



パソコン用
アプリ



iOS 用アプリ



Android 用
アプリ

Zoomのご使用方法に関する技術的なサポートはできませんのでご了承ください。

第1回全国こどもホスピスサミット 横浜宣言

- 1 こどもホスピスは、医療、福祉、教育の狭間にいる子どもや家族に寄り添います。
- 2 こどもホスピスは、命の脅かされている子どもと家族に、豊かな時間を提供します。
- 3 こどもホスピスは、地域とともに歩む開かれた施設を目指します。
- 4 私たちは、小児緩和ケアに取り組む支援施設を全国に広げていくため協力しあいます。